

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2007-537070(P2007-537070A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-513263(P2007-513263)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/075 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月11日(2008.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のジェット印刷ノズルと、

前記第 1 のジェット印刷ノズルの出力軌道の第 1 の部分に近接して置かれ、かつ前記第 1 のジェット印刷ノズルを出た印刷流体ドロップを第 1 の方向に偏向させるように配置されている、第 1 の偏向要素と、

前記第 1 の部分よりも前記第 1 のジェット印刷ノズルからさらに下流にある前記第 1 のジェット印刷ノズルの前記出力軌道の第 2 の部分に近接して置かれた、第 2 の偏向要素と、

を備えており、前記第 2 の偏向要素が、前記印刷流体ドロップを前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向に再び偏向させるように配置されており、かつ、前記第 1 及び第 2 の方向が少なくともそれらの主成分を同じ平面内に有している、ジェットプリンタ。

【請求項 2】

印刷流体ドロップを射出し、

前記射出された前記印刷流体ドロップを偏向の第 1 のステップで偏向し、

前記印刷流体ドロップを、前記偏向の第 1 のステップの後の、偏向の第 2 のステップで、前記偏向の第 1 のステップで偏向された方向とは異なる方向に偏向し、

前記偏向の第 1 及び第 2 のステップは、少なくともそれらの主偏向成分を同じ平面内に有している、ジェット印刷方法。

【請求項 3】

入力軌道に沿って移動している一連の印刷流体ドロップを受領し、

複数の前記印刷流体ドロップのそれぞれを、前記入力軌道から複数の種々の出力軌道上に静電的に再方向付けし、この再方向付けにおいては、その出力軌道が、再方向付けを行う前に前記印刷流体ドロップによってたどられていた前記印刷流体ドロップ入力軌道の部分の外側に少なくとも一つの収束点を有する、

ジェット印刷方法。